



A Clear Vision For Life®

A close-up photograph of a young girl with dark hair and bangs, looking directly at the camera with a slight smile. The image is partially framed by a large, curved blue graphic element on the left side.

第104期中間 **株主通信**

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

参天製薬株式会社

証券コード：4536

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの 実現に向けて

参天製薬は眼科領域に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、人々の目とからだの健康維持・増進に寄与してきました。国内では医療用眼科薬市場でトップシェアを堅持しています。海外ではアジア・欧州を中心に海外展開を加速しており、世界50ヶ国以上で製品を販売しています。また、世界4カ所の工場を構え、日本、アメリカ、欧州3極でのグローバルな研究開発体制を構築しています。

これからも参天製薬は、「基本理念」に基づき、真の顧客ニーズを深く考え、競合企業に対する明確な強みをもって、グローバルな競争力・存在感を持つ「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」を目指し、患者さんと患者さんを愛する人たちに貢献していきます。

基本理念

天機に参与する*

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、社会への寄与を行う。

* 中国の古典「中庸」の一節を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということの意味しています。

2013

前中期経営計画終了時点
(2011-2013年度中期経営計画)

グローバル **TOP5**
海外売上高比率 **16%**

2020年までに目指す姿

2020

長期的な経営ビジョン

世界で存在感のある
スペシャリティ・カンパニー

グローバル

日本・アジア

TOP3以内 No.1

海外売上高比率

40-50%

中期的な目標

2017

2014-2017年度中期経営計画
アジア・欧州の成長と収益化
米国・その他への展開準備

海外売上高比率

30%

FOCUS

抗リウマチ薬事業の承継と当期決算への影響

2015年8月に抗リウマチ薬事業をあゆみ製薬株式会社に承継したことに伴い、その対価として450億円を受領しました。これにより「その他収益」が増加し、営業利益（フルベース）は、前年同期から512億円増の654億円となりました。一方で、経常的な業績を示すコア営業利益は、245億円となりました。営業利益（フルベース）とコア営業利益との差額の内訳は、右の通りです。当該収益は、研究開発や事業開発等の持続的成長に向けた投資に活用します。今後は、さらに経営資源を眼科領域に集中してまいります。

コア営業利益	245億円
製品に係る 無形資産償却費	-30億円
その他の収益	+447億円
その他の費用	-9億円
営業利益 (フルベース)	654億円

国内、海外ともに増収となり、「2014-2017年度中期経営計画」の達成に向け、順調に前進することができました。



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。参天製薬グループは、2020年までの長期的な経営ビジョンとして「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現を目指しており、現在、「2014-2017年度中期経営計画」のもと、製品創製、事業展開、人材育成を柱に取り組みを進めています。

2年目となる2015年度の第2四半期（2015年4月1日～9月30日）までの業績は、前年度から適用した国際会計基準（IFRS）ベースで、売上収益が前年同期から36.1%増加の979億円となりました。国内では、「アイリーア硝子体内注射液」「ジグアス点眼液」「アレジオン点眼液」などの新製品が順調に伸長しました。また、2014年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響によって、前年同期の売上収益が一時的に減少していたこともあり、国内の売上収益は前年同期から22.8%の増加となりました。海外では、欧州・アジアでの主力製品の売上が拡大したことに

連結財務ハイライト

● 第2四半期累計 ● 通期 注：2013年度の数値については、日本基準で表示しております。

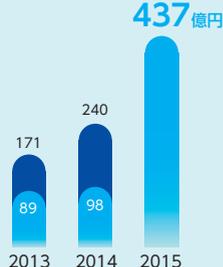
売上収益（億円）



営業利益（億円）



当期利益（億円）



1株当たり配当金（円）

2015年4月1日に普通株式1株につき5株の割合で株式分割しました。2013年度、2014年度の数値についても、分割後の株式数に基づき遡及的に算出しております。



加え、米国メルク社からの製品承継による業績貢献により、海外の売上収益は、前年度から88.0%の大幅な増加となりました。また、2015年7月には、ドイツにてドライアイ患者の重度の角膜障害治療用点眼剤「アイケルビス」を発売しました。順次、欧州各国にて発売する予定です。

営業利益は前年同期から359.3%増加の654億円、四半期利益は347.3%増加の437億円となりましたが、これは抗リウマチ薬事業をあゆみ製薬株式会社に承継する対価として450億円を受領したことが主な要因となっています。(なお、経常的な業績を示す「コア営業利益」については、2ページをご参照ください)

参天製薬は、今後も長期的な経営ビジョンの実現に向け、未充足な医療ニーズに対応した製品創製や、海外事業展開の加速により、2020年までにグローバル眼科薬市場で3位以内に入ることを目指してまいります。株主の皆さまには、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長兼 CEO

黒川 明

2020年までの長期的な経営ビジョン

「世界で存在感のある
スペシャリティ・カンパニー」の実現

2014-2017年度中期経営計画

基本方針

製品創製

持続的な成長を可能とするための
製品創製への変革、生産性向上の実現

事業展開

アジア・欧州での事業成長および
新規市場参入によるプレゼンスの向上

人材育成

持続的な成長を実現するための
人材育成および組織構築

2017年度数値目標

	目標
売上収益	2,050億円以上
営業利益	450億円以上
当期利益	310億円以上
ROE	13%以上
研究開発費	210億円目標
配当性向	40%を目標

セグメント指標

● 第2四半期累計 ● 通期 注：2013年度の数値については、日本基準で表示しております。

医療用眼科薬 (億円)



医療用抗リウマチ薬 (億円)



一般用医薬品 (億円)



医療機器 (億円)



欧州事業の拡大

眼科のスペシャリティ・カンパニーとして、 欧州の眼科医療に貢献する

参天製薬は「2014-2017年度中期経営計画」の基本方針において、「欧州事業の成長と収益性の向上」を重要な目標のひとつに掲げています。これまで、緑内障・高眼圧症治療剤「タフロタン」（日本製品名：タブロス）を成長ドライバーとして、30カ国以上で事業を展開してきましたが、2014年には米国のメルク社から眼科製品を承継し、事業展開国・地域と製品ポートフォリオが大きく拡大しました。さらに、2015年にドライアイに伴う重度の角膜炎を適応症とした「アイケルビス」の上市に成功したほか、非感染性後眼部ぶどう膜炎を適応症としたDE-109（一般名：シロリムス）の販売承認を申請するなど、確実に前進しています。これらの成果を軸に、2017年度欧州事業売上目標310億円の達成を実現し、参天製薬の成長を加速させていきます。

メルク社の
眼科製品を承継

DE109販売
承認を申請

欧州事業の売上収益と主な出来事



アイケルビスを発売



2017年度(目標)

310億円

2015年度(予想)

254億円

組織・機能の強化に取り組み、
各国の顧客ニーズに応じていきます

参天製薬は欧州事業の拡大と成長の加速を実現するために、緑内障、ドライアイなどの専門領域における強みの最大化を図るとともに、組織・機能の強化に取り組んでいます。

その一環として、イタリア、イギリス、アイルランド、スペイン、ポルトガル、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、スイス、オーストリアで営業組織を立ち上げました。多数の国と文化が融合された地域である欧州において、各国の顧客ニーズに応じていく事業活動を着実に推進していきます。



欧州事業における各地域の責任者

欧州事業について、より詳しい内容は、参天製薬が発行する「アニュアルレポート2015」の「特集・欧州事業の拡大と成長の加速」(16～21ページ)をご覧ください。



医療ニーズに合わせた研究開発を推進

参天製薬では、眼科に特化した研究開発を推進しています。特に眼科領域では、治療薬がまだ世界的に十分ではない「角結膜疾患」や、患者数が増えつつある「緑内障」および「網膜疾患」を重点領域として、医薬品の開発を行っています。2015年11月4日現在、医薬品の開発状況（臨床段階）は以下の通りです。

開発コード (品名)	一般名	効能・効果	地域	フェーズ			申請	承認	発売
				1	2	3			
DE-085	タフルプロスト	緑内障・高眼圧症	アジア						2010年3月
			中国					2015年7月	
DE-089	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	韓国						2013年10月
			中国					2012年1月	
			アジア					2015年7月	
DE-090	ロメリジン塩酸塩	緑内障	日本						
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国						
			日本						
			欧州					2015年2月	
			アジア					2015年4月	
DE-111	タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	日本						2014年11月
			欧州						2015年1月
			韓国					2015年6月	
			アジア					2015年3月	
DE-117	未定	緑内障・高眼圧症	米国						
DE-118	タフルプロスト	緑内障・高眼圧症	日本						2013年10月
			アジア					2015年6月	
DE-120	未定	滲出型加齢黄斑変性	米国						
DE-122	未定	滲出型加齢黄斑変性	米国					フェーズ1/2	
シクロカット	シクロスポリン	ドライアイに伴う 重度の角膜炎	欧州						2015年7月
			米国						
ベカシア	シクロスポリン	春季カタル	欧州						
カチオプロスト	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州						
コルチジェクト	デキサメタゾン パルミチン酸エステル	糖尿病黄斑浮腫	欧州						フェーズ1/2

! 医薬品が承認されるまで

創薬研究

前臨床試験

臨床試験

申請承認

発売

第1相試験 (フェーズ1)

少数の健康人志願者を対象に
安全性を確認します。

第2相試験 (フェーズ2)

少数の患者さんを対象に
当該疾患治療に適切な投与量や
投与方法を検討・確認します。

第3相試験 (フェーズ3)

多数の患者さんを対象に既存薬や
プラセボ (偽薬) と比較して安全性・
有効性を検証します。

ぶどう膜炎

—希少疾病の「未充足ニーズ」

患者数が少ない希少疾病

世界には、患者数が少ない疾病のために十分な医薬品研究がなされず、「不治の病」とされている難病が7,000以上あると言われています。日本では「国内患者数5万人未満」などの基準に合致した病気を「希少疾病」と指定し、医薬品開発を促すことで、患者さんが少しでも早く適切な治療を受けられるよう推進しています。この希少疾病には、「後眼部ぶどう膜炎」や「難治性ぶどう膜炎」などがあります。

目の中で起きる炎症ぶどう膜炎

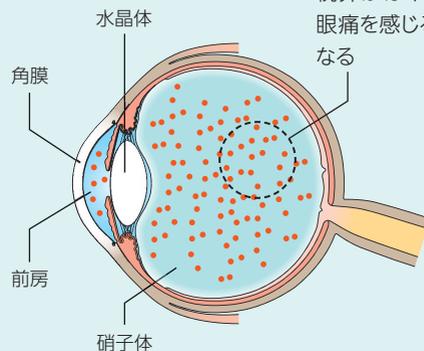
ぶどう膜炎の原因は多種多様ですが、病原菌による感染や全身の免疫異常から発症することがあります。この病気にかかると、目の中の透明な前房と硝子体に炎症性細胞が生じ、視界がぼやけるような症状などが現れます。また、重症化すると失明に至る場合もあります。ぶどう膜炎の推定患者数は、日・米・欧合わせて25～30万人であり、世界の患者数が6,000万人と言われる緑内障に比べると、患者数が少ない病気であることが分かります。

新薬開発で未充足ニーズに応える

ぶどう膜炎の治療には、現在、ステロイド剤や全身用の免疫抑制剤などが用いられていますが、局所または全身の副作用が少ない新たな治療法が求められています。参天製薬では、2011年5月、ぶどう膜炎を対象としたDE-109の臨床試験を開始。非ステロイド剤であるDE-109により、治療の未充足ニーズに貢献できると期待しています。この新薬を、一日も早く、患者さんのもとに届けることを目指しています。

参天製薬は、このようなまだ治療薬が十分ではない領域で、患者さんや医療関係者の方々の未充足ニーズに応える活動に注力していきます。

ぶどう膜炎の症状



新発売の一般用点眼薬

新サンテドウα (2015年4月発売)

「サンテドウ」は、今年で発売50年を迎えました。この節目に、長年ご愛顧いただいていたパッケージ・処方方を一新。「新サンテドウα」として新発売しました。これからも、シニア世代の目の疲れや目やにを伴う目のかすみなどのケアに貢献していきます。



コラボレーション企画を続々展開

参天製薬が販売する一般用点眼薬と、人気コンテンツとのコラボレーション企画を展開しました。

サンテPC × 攻殻機動隊 新劇場版

「サンテPC」と、アニメ映画『攻殻機動隊 新劇場版』とがコラボレーションした広告を展開。パソコン・スマホのブルーライト等の光ダメージに着目して処方設計した製品特性を訴求しました。



©士郎正宗・Production I.G / 講談社・
「攻殻機動隊 新劇場版」製作委員会

サンテ40シリーズ × ガラスの仮面

「サンテ40シリーズ」と、人気漫画『ガラスの仮面』とタイアップしたキャンペーンを実施。一日中目を使い続けた後の夕方などに目のかすみや不快感などを感じる「夕方老眼」を啓発しました。



サンテ目薬シリーズ × 進撃の巨人

「サンテ目薬シリーズ」と、人気アニメ『進撃の巨人』とのコラボレーション企画を展開し、「サンテ目薬シリーズ」が、現代人を悩ませる「疲れ目」とともに戦うパートナーであることを訴求。限定デザインのサンテFX 進撃の巨人モデルの発売や、その他キャンペーン等を通じ、アイケアの重要性を伝えました。



©諫山創 / 講談社 / 「進撃の巨人」製作委員会

盲導犬育成のための支援活動

参天製薬では、「経営と一体となったCSR」として、事業活動を通じた社会への貢献をCSRの根幹に据え、また全社員がCSRに対する理解を深め、実践することを求めています。そのCSR活動のひとつとして、盲導犬の育成支援活動に継続的に取り組んでいます。



日本では、約1,000頭の盲導犬が活躍していますが、盲導犬を希望する方は少なくとも3,000人はいると推計されており、まだまだ普及が進んでいないのが現状です。盲導犬の育成は、たくさんの方のボランティアの方と、多数の方からの寄付で支えられています。当社でも、そのための寄付を会社として行うとともに、工場や研究所、オフィスなどの各事業所では、従業員からの寄付を募っています。今後も盲導犬育成支援を継続していきます。



盲導犬育成支援の啓発パンフレットを掲示するとともに、「募金箱」を設置



日本ライトハウスでの盲導犬賞与式にてユーザーさんと

拠点紹介



PICK UP サンテン・スイス・エスエー

欧州事業の中心拠点として、欧州のその他の拠点を統括しています。2015年8月に、社屋をジュネーブ（スイス）に移転しました。



新社屋の開所式の様子

会社概要 2015年9月30日現在

社名 参天製薬株式会社

本社 〒530-8552

大阪市北区大深町4番20号

TEL：06-6321-7000（代表）

06-4802-9360（広報IR）

創業 1890年

設立 1925年

資本金 7,573百万円

工場 能登、滋賀

研究所 奈良研究開発センター

従業員数 3,330名

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

6月

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

単元株式数

100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載 URL : <http://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード

4536

上場証券取引所

東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社

コーポレート・コミュニケーショングループ

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL : 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (広報IR)

Email : ir@santen.co.jp

URL : <http://www.santen.co.jp>



ホームページに最新の情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



FSC® 認証紙と植物
使用しています。